

第 93 回 訪問介護事業者連絡会 世話人会 議事録

日時：平成28年 4月 14日(木) 19:00～21:00
場所：福祉センター 地区社協活動室
出席者：神田、桜井、平原、安本、山川、渡
オブザーバー：樽井氏、宮本氏
書記：渡 欠席 岸本

1) 高齢者いきいき課からのお知らせ

宮本氏より、

先日の新総合事業の意見交換会は時間も短かったので、もう少し時間をかけて、何度か行いたいと思っています。

今年度の訪問介護事業者連絡会の担当は引き続き宮本氏との説明があった。

2) 「へるぱあの部屋」は4月11日にアップしました(平原さんより報告)

3) スマイルフェスタの反省のまとめについて

山川さんより報告

フェスタの趣旨が一般の人にわかりにくい。

会場のきららだが、1階から下の階になかなか客が降りてこない。集客が難しい。

今年度は会場が確保できなかったので行わない。

世話人会での意見は、

介護フェアの頃は同業者が見に来たりしていたが、昨年度は来場の同業者が少なく感じた。関心がいまひとつなのだろうか？

テーマが盛りだくさんで焦点がぼやけてしまった感があった。

どうしたら市民にアピールが出来るか？を考える。地域のお祭りなどに参加して、介護に関心をもってもらうようにしたらどうか。

キネステが集客に一役買っていたが、目玉がないと人を呼ぶのは難しい。

4) 在宅介護事業者連絡会の報告

岸本さんが欠席なので、安本さんから報告

岸本さんが以下の問いかけをした。

新規の依頼の時、ケアマネから訪問介護の事業所宛に配布される書類が、あったり無かったりで、統一は出来ないのか？

サービス依頼書の有無や、担当者会議の記録は実地指導の時などに指摘されたことがあった。複数の事業者が入っている利用者の場合、事業者毎に緊急の連絡先を答えなければならないなど、利用者の負担が大きい。ケアマネが最初に共通の情報を出してくれていたらと思う。

現実には書類の統一は難しいと思うが、ショートの手伝い用紙が、ケアマネ連絡会との連携

によって統一された経緯も踏まえて、訪問介護の事業所も連携を図ることで、動きやすく出来るのではないかな。

インフルエンザの対応について

ヘルパーの家族が感染した場合、ヘルパー自身が感染していなくても出勤停止になるか？事業所によってはインフルエンザだと訪問できなくなるので、検査をしぶる所も存在する。

世話人会での意見は

ケアマネからの依頼が契約成立・不成立でも、事業運営のうえでデータとして残しておいたほうが良いのではないかな(残しておくことで指導等の際、指摘を受けることはない)。

アセスメントシートが30年に統一という話もある(樽井さん)

重度の利用者が多くなると自費対応が増えて行く。

また自費対応が増えると常勤換算をクリアすることが難しくなる。

インフルエンザの件は常識の範囲でということが多いのではないかな。ヘルパー本人も感染に気が付かなくて訪問していた。この場合は悪意もないし仕方がない。

ただ、流行している時期はマスクや手洗いの徹底を呼び掛けている。

5) 3/14「新総合事業についての市との意見交換会」について

アンケートはへるぱあの部屋に最終版をアップ(安本さん)

サ責手当の件は現実的でなかったかもしれないが、サ責の現状を訴えたかった。行政との温度差を出席者全員が感じていたのではないかな。

宮本さんより、金額についての市場調査が必要という意見が印象的だったと。

6) ミニ研修会について

鎌倉地区で渡が提案したが、会場の確保等から決まっていない。5月中に第1回は予定できるようにしたい。(内容は介護用ベットの操作方法)

ただ現状では、呼びかけ方法、地域分けなどの検討も出来ていないので、今回、医師会で開催予定の研修会は、第1回(鎌倉地域)に該当はできない。

「おむつの正しい当て方」の研修を実施出来たらと、提案する。渡がメーカーの担当者に連絡をとり、来てもらえる時間などを確認する。

7) 5・6月に開催の交流会、研修会について

5・6はサ責向けで

次世話人会 28年 5月12日 木曜日 19:00~20:30

場所 福祉センター 地区社協活動室 書記 平原・山川・渡